

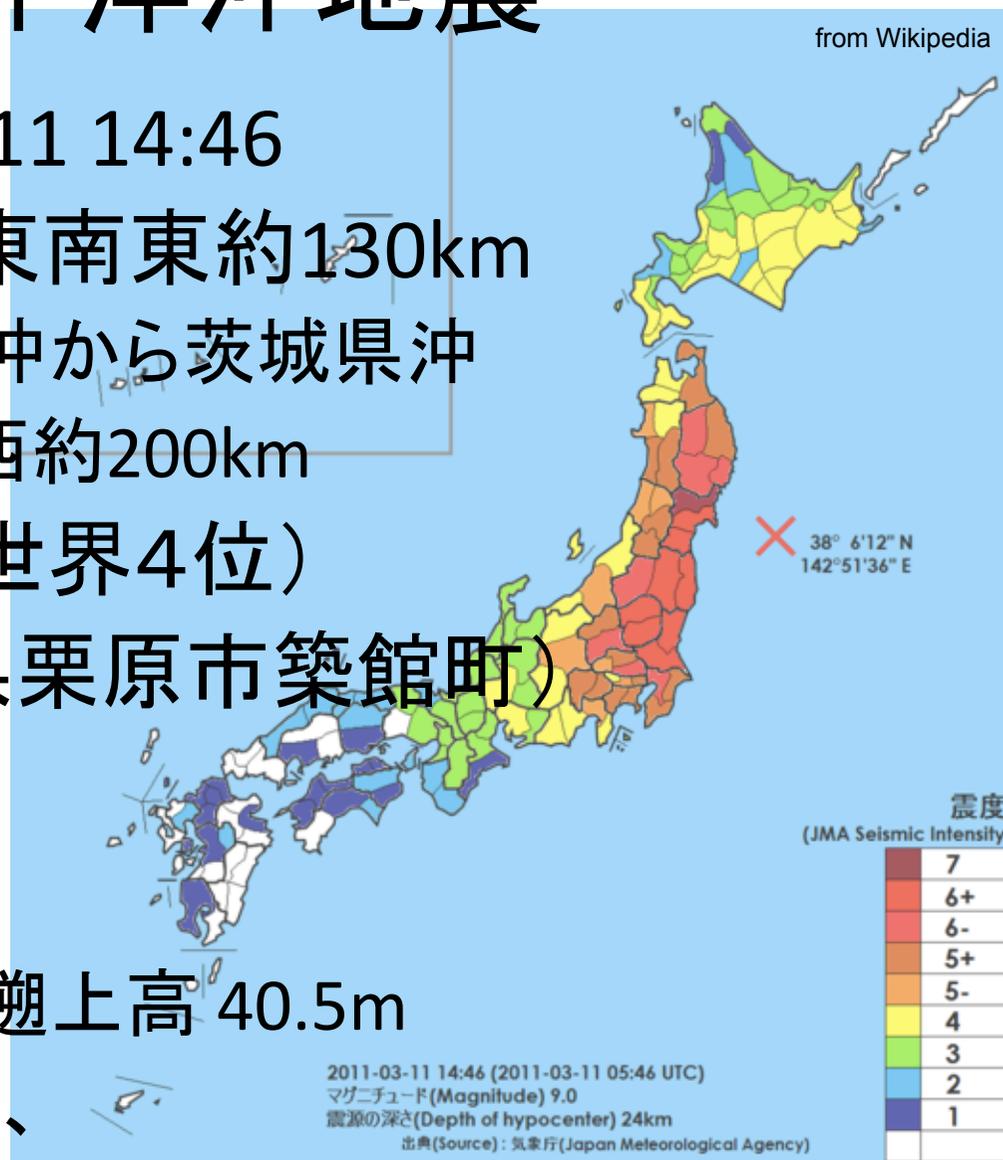
2011年、 インターネットは被災地を支援した

佐藤 大

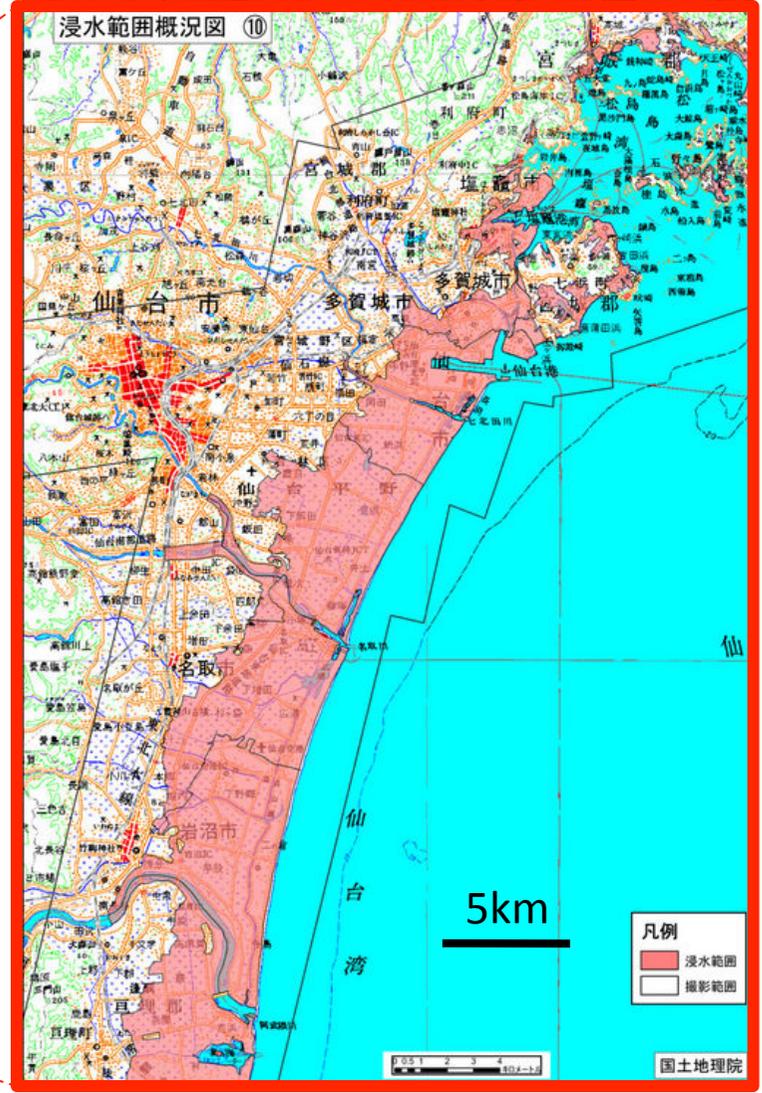
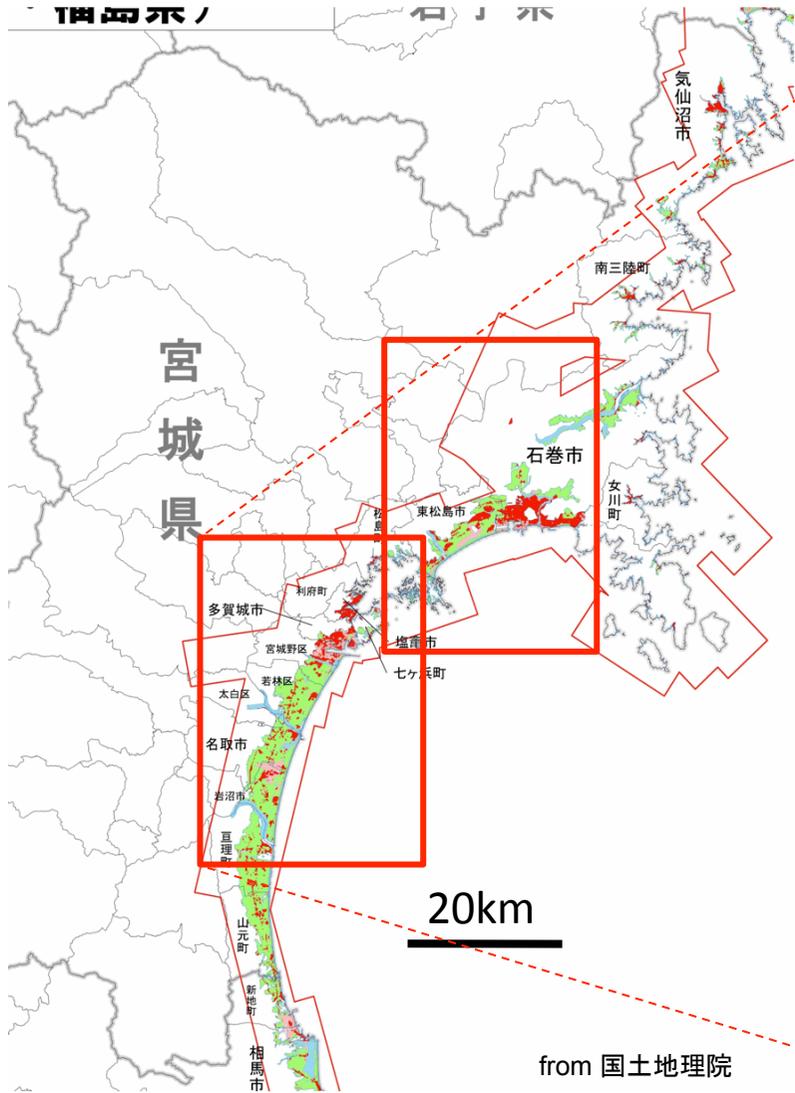


平成23年(2011年)東北地方 太平洋沖地震

- 発生時刻: 2011/3/11 14:46
- 震源: 牡鹿半島の東南東約130km
 - 震源域は、岩手県沖から茨城県沖
 - 南北約500km、東西約200km
- Mw 9.0(観測史上世界4位)
- 最大震度7(宮城県栗原市築館町)
- 大津波が発生
 - 波高約 10m、最大遡上高 40.5m
 - 内陸 6km まで浸水、



津波浸水範囲(仙台)

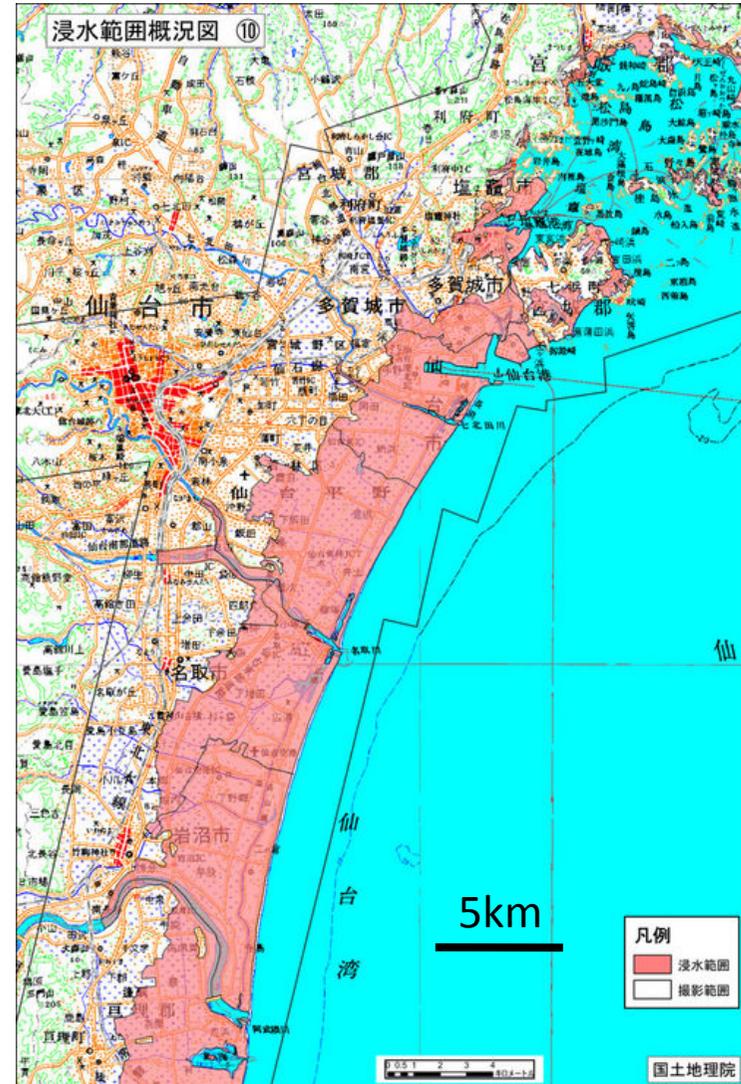


from 国土地理院

津波浸水範囲を都心と比較

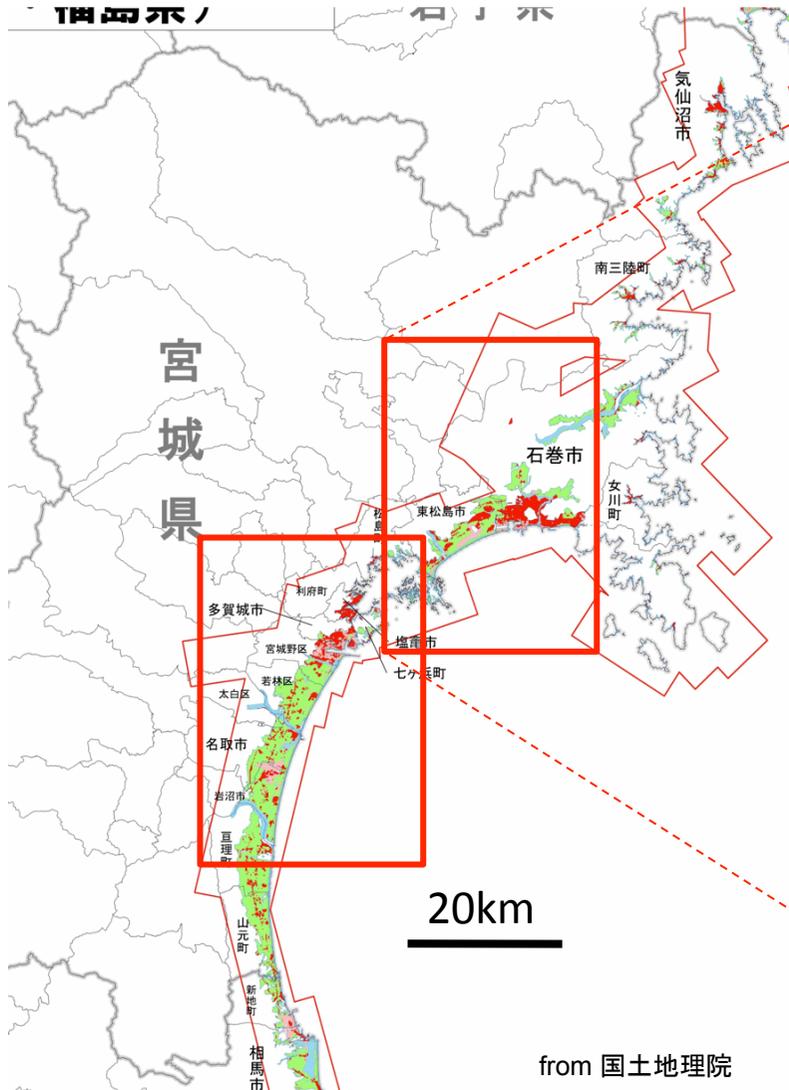


from Google Maps



from 国土地理院

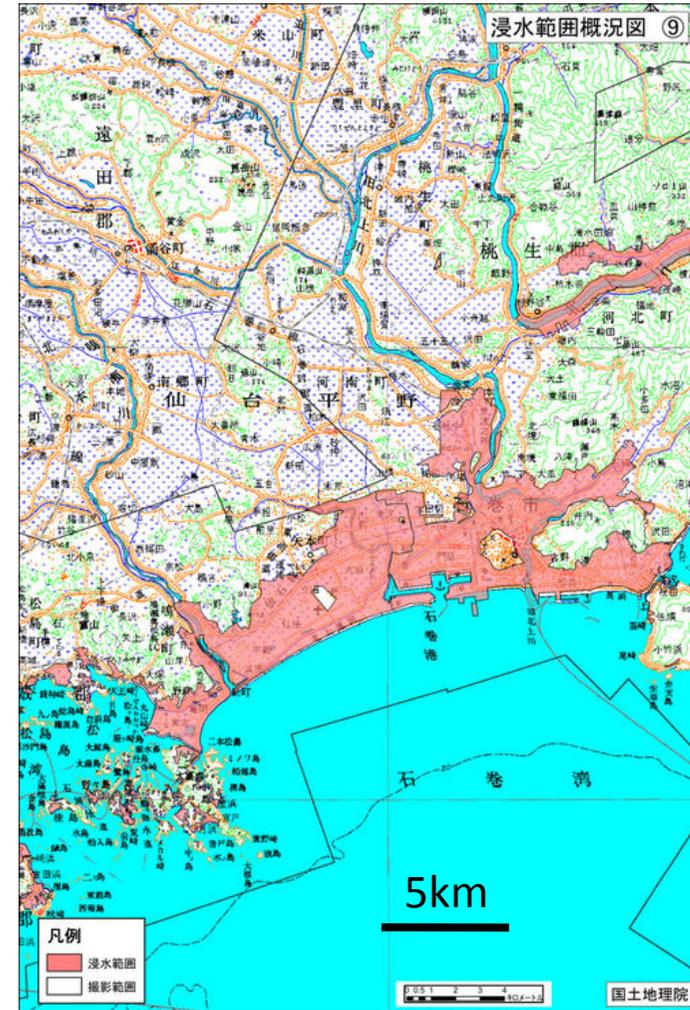
津波浸水範囲(石巻)



津波浸水範囲を都心と比較



from Google Maps



from 国土地理院

発災後の情報支援

- Google クライシスレスポンス
 - パーソンファインダー
 - 避難者名簿共有サイト
 - 自動車通行実績情報マップ
- Yahoo! Japan
 - 地震情報まとめ
 - 計画停電マップ
- sinsai.info
 - 被害状況や安否情報を地図上に
- twitter, Facebook など SNS による情報提供
- ...などなど

The screenshot shows the Yahoo! Japan disaster information page for the Great East Japan Earthquake. At the top, there is a map of the affected area. Below the map, the page title is "震災情報 東日本大震災" (Disaster Information Great East Japan Earthquake). The main content area is divided into several sections: "災害に関する情報" (Information about the disaster), "原発に関する情報" (Information about nuclear power plants), and "防災速報" (Disaster Alert). The "災害に関する情報" section lists various news items and links. The "原発に関する情報" section lists information about nuclear power plants. The "防災速報" section provides real-time updates. On the right side, there is a sidebar with a "全カテゴリー" (All Categories) menu, including "ニュース" (News), "防災" (Disaster), "交通機関" (Transportation), "物資調達" (Material Procurement), "避難者センター・避難所" (Disaster Relief Centers / Evacuation Sites), "データ集計" (Data Collection), "日本語以外での提供" (Provision in Languages Other Than Japanese), "ボランティア募集" (Volunteer Recruitment), "緊急連絡" (Emergency Contact), "店舗・施設情報" (Store / Facility Information), "雇用情報" (Employment Information), "被災者受け入れ先" (Disaster Victims' Reception Sites), "地図・津波情報" (Map / Tsunami Information), and "その他" (Others).



ネットボラ宮城

<http://netvol-myg.w3m.jp/>

netvol-myg@w3m.jp

[@netvol_myg](#)



災害からの復旧に、 インターネットが役に立つこと ～ネットボラ宮城活動レポート～

ネットボラ宮城
東北大学病院メディカル IT センター
佐藤 大

2011年12月16日
JPNIC総会@東京

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/after/20111216/>

「仙台にいる」ということ

- 津波被災地に近い
 - 被災地の生活環境や文化が分かる
 - 直接現地に行ける
- 被害が少ない
 - 支援する余裕がある
 - ネットワークを使って情報収集ができる
- 被災者と支援者の双方を見渡せる！



やれそうなこと

- 津波被災地には生活支援が必要
- 生活支援したい人は、あちこちにいる
 - でも、情報収集ができない
- パソコンやソフトの物資提供もある
 - でも、誰に送れば良いのか分からない
- 支援者とICTを繋げたら、うまく回りそう
 - ただしICTスキルの介在が必要



こんなことやっています

- 活動の中心はメーリングリスト(約 100 名)
- 避難所などにインターネット環境を設置
- 他のICT支援組織との連携、お手伝い
 - 地元情報の提供や水先案内など
- Twitterやウェブで被災地情報やボランティア情報を発信
- ...妙に幅広いのは、手探りだから



活動指針

- 遠くでできることは遠くでやる
 - のんびりやる
 - 頑張らない
-
- 被災地のことを忘れさせない



(ハードウェア支援の)

利用形態

- 避難所
 - 行政の広報、生活情報、就業情報などの収集
- 仮設住宅
 - 住民の情報収集、交流の場
- 学校
 - 教師の情報収集、運営業務、教育委員会と通信
- 支援組織
 - 情報収集、通信、資料作成
 - 就業支援の技術指導、ワークショップ等



支援実績（総計）

	機器種別	台数	
機器提供	3G ルータ	10	20
	無線アクセスポイント	15	21
	データ通信カード	20	30
	パソコン	91	91
	プリンタ	23	27
その他	機器貸与、インストール作業代行、 運営支援、被災地案内、など		



普段の作業は副業中心

- ボラ募集情報一覧
- リンク集
 - 支援・ボランティア
 - 公共交通
 - 行政
- 地域向けリンク集
 - 設置したパソコンの初期画面用
- ツイッター
 - 支援・ボランティア情報が中心

ネットボラ宮城

ボランティア募集状況

2011-05-27 (日) 21:49:10 (2h)

ネットワーク環境の無い、自身のWebを持っていないボランティアセンターをご存知の方、こちらに下記内容で掲載しますので、ご連絡をください。

宮城県

ボラセン	更新	募集	内容	申込	住所など
宮城県災害VC id (twitter id)	5/25	○	・東京発着のJTBバスバックあり。 5/27(金)、6/3(金)、6/10(金)、6/17(金)、6/24(金) 発の各3日間 ・バスバックの受付を 6/19 まで	バスバックの申し込みは JTB サイト	住所
気仙沼市災害VC id (twitter id)	5/26	○	・泥出し、片付け、仮設住宅での ボラセンの運営ボランティアを ・ボラセン行きのバスは 5/21 - : から 8:00 発、予約制 ・仙台駅発ボラセン行き送迎バス (土) 29日 (日) 6時20分 仙台駅 ・駐車場○、テント○		住所
気仙沼市災害VC	5/21	○	・被災地での泥出し、片付け、支 け作業など		住所

ネットボラ宮城

気仙沼用ポータル

2011-05-17 (日) 21:11:45 (10d)

震災関連の情報ポータル

- 東日本大震災情報 [id](#) - goo
- goo ニュース東日本大震災特集 [id](#)
- 震災支援 [id](#) - Yahoo!
- 震災情報 [id](#) - Yahoo!
- Google 東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震) [id](#)

生活情報

- 気仙沼市 [id](#)
- 東日本大震災情報 [id](#)
- その他の行政機関
- 被災者向け医療情報 [id](#) - 受診可能な医療機関 (gooヘルスケア)
- 仮設のトリセツ [id](#) - 仮設住宅を住みこなすための方法

支援情報

- 気仙沼市災害ボランティアセンター [id](#) - ボランティアの要請
 - 気仙沼市災害ボランティアセンター本吉支所 [id](#) - 本吉方面のボランティアの要請
 - 気仙沼市小浜町災害ボランティアセンター [id](#) - ボランティアの要請
- ふんばる東日本プロジェクト [id](#) - 支援物資の要請
- Amazon ほしい物リスト [id](#) - 支援物資の要請
- ボランティアプラットフォーム [id](#) - ボランティア/支援物資の要請
- その他の支援情報

就職情報など

- ハローワークインターネットサービス [id](#)
- 気仙沼復興協会(KRA)事務局 [id](#)

交通情報

- JR 東日本 [id](#)
 - 東北エリア列車運行情報 [id](#) (5/14現在)

気をつけていること

- 「〇〇一覧」は、意外と少ない
- 「〇〇終了」は、なかなか流れない
 - 情報に発信日付を明記することで改善
- 時間単位のネタは生情報が最強
 - 整理するなら、寿命が日単位以上の情報
- 情報元を確認・明示
- とにかく継続する

現在の悩み

- 支援組織は、年単位で活動するとは限らない
 - 通信回線の長期契約はハイリスク？
 - プリペイドや月単位契約の商品が非常に少ない
- 被支援者には印刷物を渡すことが多い
 - プリンタのランニングコストが支援の負荷に
- いつまでも物的支援を続けるべきではない
 - 被災地の経済活動を正常化したい



災害からの復旧・復興に、
インターネットは役に立ったか？



インターネット as a 支援基盤

- 被災者が直接活用してないとダメ？
- 支援者は、ずいぶん活用したはず
 - 支援の呼びかけ、コミュニティ形成
 - ニーズ情報とのマッチング
- 支援情報ポータルや、今は EC サイトも
 - 南三陸町支援情報ポータルサイト
 - <http://minamisanrikushien.blogspot.com/>



さらに活用するには

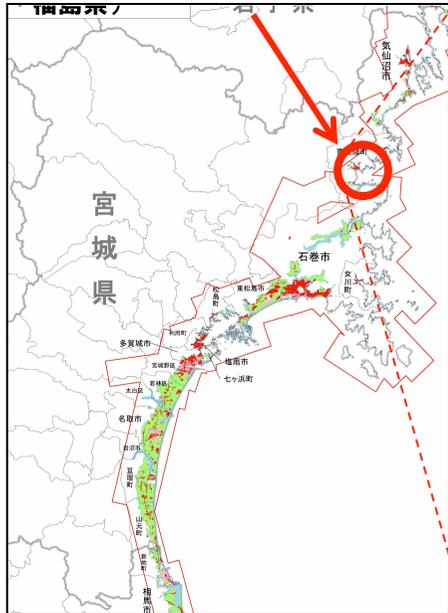
- 情報の収集整理は遠隔地で
 - オンラインの活動はインフラが健全な場所で
- 整理済みの圧縮された情報を被災地へ
 - A/D 変換を意識する
- 情報を活用するスキルも提供
 - 今回「情報ボランティア」は居たのか？
 - 部品ではなく、フルセットでの支援が必要



さらにさらに活用するには

- 大規模停電への対応
 - 非常用電源の整備？
- 消滅した通信インフラの肩代わりは可能か
 - 代替回線は？ 無線？ 衛星？
 - 復旧をテコ入れする方策はあるか？
- 拠点間の通信確保
 - 災害通信支援チーム？

12/11 南三陸町志津川



from @united_earth_jp

2011年12月16日
JPNIC総会

<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/after/20111216/>

「JPNIC News & Views」

連載：ネトボラ宮城活動レポート

<https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/net-volunteer.html>

そして情報支援レスキュー隊へ

